

# 宮崎県 在京経営者会議だより

発行責任者／山中 祥弘 〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 学校法人メイ・ウシヤマ学園内  
TEL 03-3408-5020 / FAX 03-3423-6092



## 会長挨拶

宮崎県在京経営者会議 会長 山中 祥弘

三年目に入ったコロナ禍は、われわれの生活を直撃し、一変させてしまいました。ビジネスの世界でも「三密」を避けるために「サービス・モノ提供の非接触化」「コミュニケーションのデジタル化」「脱・労働集約」が進み、これが「新常态」となってきました。

令和三年度の宮崎県在京経営者会議の活動も、コロナ禍によって大きく制約されてしまいました。定期総会は「ズーム参加」も交えて開催することができましたが、恒例の「宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」などは見送らざるをえなくなりました。

しかし、新しい動きも芽生えています。宮崎商工会議所の「みやざき観光文化検定」に全面協力し、東京会場での受検も実現することができました。若手経営者を中心とした「アンダー50の会」も活動を始めました。人材交流部会では、外部の経済団体とも連携し、ズームを使った新しい形のビジネス・フォーラムを開催しました。

「ピンチをチャンスに」を合言葉に、知恵と工夫で令和四年度の活動を続けていきたいと思えます。コロナ禍の「新常态」に対応して、攻めの姿勢でいろいろな試みを展開していくつもりです。会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。



## 知事挨拶

宮崎県知事 河野 俊嗣

宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、首都圏における本県出身者の就職支援や文化・観光・物産のPRなど、県政の推進に温かい御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大が人々の生活や経済活動に大きな影響を及ぼしておりますが、そのような中においても、本県では、様々な分野で、持続可能な宮崎のための土台づくりが着実に進むとともに、新たな成長につながる取り組みが行われております。

高速道路等の整備が進展しているほか、宮崎と神戸を結ぶ長距離フェリー航路を「本県経済の生命線」として県内経済界や行政、関係機関の「オールみやざき」体制で支援し、今年中に新船2隻が就航する予定となっております。

また、1月11日には新県立宮崎病院が開院し、本県地域医療の拠点として、医療提供体制の充実・強化に大きく貢献することが期待されます。

さらに、昨年、本県で開催された「国文祭・芸文祭2020」の成果を将来につなげるため、宮崎県文化振興条例を制定し、地域文化の承継、発展や新たな文化の創造、文化を通じた魅力発信、共生社会の実現を図ってまいります。

加えて、昨年の東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿を受け入れた経験や実績を生かし、屋外型トレーニングセンターなどの整備に取り組み、「国際水準のスポーツの聖地みやざき」として一層のブランド力向上につなげてまいります。

令和4年度は、県総合計画アクションプランの最終年度であり、その目標達成に向けて全力を尽くすとともに、「コロナ禍からの復興と新たな成長活力の創出」「人口減少対策の取組強化」「安全・安心で魅力ある地域づくり」という3つの柱に重点を置き、コロナ禍の長期化に伴う様々な変化に的確に対応しながら、未来に夢や希望を持って、心豊かに暮らすことのできる社会づくりを進めてまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、宮崎県在京経営者会議の更なる御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、御挨拶といたします。





## 活性化協会会長挨拶

宮崎産業活性化協会 会長 米良 充典

宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、日頃より当協会の事業に対しまして多大なるご支援、ご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、世界では依然として「コロナ禍との闘い」が続いております。第6波が猛威を振るうなか、「2050年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)」へ向けた脱炭素社会への対応や、「経済=武器」ととらえた「経済安全保障」問題など世界の政治・経済の潮流は予断を許さない状況にあります。

我が国におきましては、昨年7月に「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されました。移動制限や関連イベントの中止、飲食関連での休業・時短営業などにより、期待された経済効果には及ばず、その後の資源価格の上昇や人件費増加のコスト増加などにより中小・小規模企業の多くは深刻な経営環境におかれています。10月に発足しました岸田内閣はコロナ克服と新時代開拓へ向けて「新しい資本主義」を旗印に「成長と分配の好循環」をめざし、感染拡大に備えた医療提供体制の構築と経済再生・発展への動きを加速させています。本県では「県独自の緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」等の新型コロナウイルス感染防止対策が講じられるなか、宮崎商工会議所としましては、宮崎県と協力した会員企業のワクチン接種支援をはじめ、「宮崎県飲食関連事業者等支援金」、「県内事業者緊急支援事業」、「宮崎市新型コロナ復興支援プレミアム付商品券発行事業」など継続的に地域経済を支える事業を展開しました。また、11月にはコロナ収束への願いを込めて「みやざき元気花火大会」を2年ぶりに実施しました。さらに12月には宮崎県在京経営者会議の皆様のご協力のもと、「みやざき観光文化検定」を初めて東京会場でも実施することができました。誠にありがとうございました。県としても7月から10月に「第35回国民文化祭・みやざき2020」、「第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」が開催され、神話の源流としての宮崎の魅力をオンラインも含め国内外に発信することができました。本年は4月には宮崎カーフェリー新造船「たかちほ」の就航や2027年の国民スポーツ大会に向けた県営プール整備、シーガイアの屋外型トレーニングセンター整備などのビッグプロジェクトが始動します。私ども宮崎産業活性化協会としまして、今こそ、宮崎県在京経営者会議の皆様と一致団結して、コロナ禍を克服すべく、宮崎活性化への取組に挑戦して参りたいと考えております。最後になりましたが、宮崎県在京経営者会議の益々のご発展と山中会長様をはじめ会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念致しまして挨拶とさせていただきます。

## 宮崎県在京経営者会議とは

宮崎県在京経営者会議は平成11年10月に宮崎県出身の在京経営者・役員・管理職で組織する団体として設立されました。

多岐に亘る業種の第一線で活躍するビジネスマンのみならず、法律家・芸術家、研究者などのご参加により、会員相互扶助・情報交換等活発に行われる中で、新しいコミュニティが創出されております。

また、地方再生・地方活性化が叫ばれる中で故郷に対し貢献をしていきたいとの願いから、県や各市町村、提携団体である宮崎産業活性化協会との連携を保ち、郷土の経済活性化に向けた取り組みに努めております。

会員数は約180名ですが、多様な分野からの愛郷心に満ちたご支援・ご協力という会の素晴らしい財産を礎に、観光・物産振興や伝統文化の紹介、郷里の子弟の就職支援活動など専門部会を中心に会員企業の皆様に特段のご配慮をいただき、弊会の特色を生かした活動を展開しております。

弊会事業が、郷土への貢献を太い柱により良い歩みを進めていくためにも、多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。





## 令和3年度 第23回定期総会

宮崎県在京経営者会議の「第23回定期総会」は、令和3年7月5日（月）に東京・港区六本木のハリウッド大学院大学で開催されました。

今回も、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策に万全の体制を取り、また緊急事態宣言を考慮し、参加者を制限した上、リモートでの参加も実施しました。

総会では、令和2年度事業報告並びに収支決算承認の件、令和3年度事業計画並びに収支予算案承認の件が原案通り承認、可決されました。また、令和3年度は役員改選の年ではありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役員会等の開催を自粛し、改選を1年延期することとしたほか、事務局を会長の所属する事業所に置くこととし、承認、可決されました。

引き続き、来賓の河野俊嗣宮崎県知事がリモートで挨拶されたほか、吉村達也宮崎県東京事務所長が挨拶されました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、懇親会は開催しませんでした。

※ 写真はいずれも定期総会の様子です。



## 宮崎県東京事務所の活動概況

### ・国への提案・要望活動

財政基盤の脆弱な本県においては、様々な課題に的確に対応し、更なる発展を図るため、県や市町村が国への提案・要望活動を行っており、コロナ禍においては、オンラインによる要望の調整も行っています。

### ・企業誘致

首都圏から本県への企業誘致に取り組んでおり、対面やオンラインによる企業との面談や、テレワークの機運の高まりに伴うワーケーションの支援等を行っています。また、月に1回、立地企業など約150社に「宮崎ひなたニュースレター」を送信し、宮崎県の補助制度やイベント、旬の県産品の情報を提供することによりフォローアップを行っています。

### ・県の魅力発信

本県の観光振興を図るため、旅行エージェント等に対して本県の観光情報などを提供し、旅行商品造成につながるよう取り組んでいます。

また、本県の魅力を一人でも多くの方に知っていただくために、メディアやホームページ、SNSなど様々なツールを活用した情報発信を行っています。

### ・県産品の販路拡大

県産農産物や加工品等の販路拡大のため、市場流通情報の収集や物産販売チャネルの開拓のほか、県産農産物等の品質調査、小学生を対象とした食育活動等を行っています。

また、県産農産物等のおいしさを食べて知っていただくために、ホテルやレストラン、キッチンスタジオ等と連携した宮崎メニューの提供等に加え、新宿みやざき館 KONNE において、県内各地域の魅力を身近に感じてもらうための各種フェアを行っています。



ホテルメトロポリタン川崎での宮崎フェア



新宿みやざき館コネでの地域フェア



全国のABCキッチンスタジオで宮崎メニュー展開



# 活動報告

## ビジネスフォーラム

宮崎県在京経営者会議会員による講演と懇親会を通じて、会員相互の交流を深め、それぞれが抱える課題に対応していこうという目的で平成30年1月からスタートしました。令和2年1月まで合計9回開催しています。

令和3年度は、令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症のため開催を見合わせています。 ※写真は、過去（第3回）に開催したビジネス・フォーラムの一コマです。



## ◆宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会

令和3年度に開催されれば、第19回目となる会でしたが、新型コロナウイルス感染症のため、前年度に続き中止になりました。

※写真は、第18回の楽しむ会の様子です。



## ◆U50 (アンダー50) の活動

50歳以下の若手会員を中心に、時代を担う会員の育成・拡充を図っています。

※写真は、第23回定期総会で行われた活動報告です。



## ◆「ふるさと創生」に向けた活動

宮崎商工会議所が主催する「第15回みやざき観光・文化検定」について、当会では首都圏でも受験できるように今回初めて協力しました。この検定は、宮崎県民一人ひとりが宮崎県全体に関する幅広い知識を持ち、訪れる観光客をあたたくもてなす心を持った人材を育成するため、知識の習得とスキルの向上、観光振興への意識とホスピタリティの向上を図ることを目的に実施しているものです。

後援には、宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎市、宮崎市教育委員会、宮崎県市長会、宮崎県町村会、一般社団法人宮崎県商工会議所連合会、宮崎県商工会連合会、宮崎経済同友会、公益財団法人宮崎県観光協会、公益社団法人宮崎市観光協会、宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合、一般社団法人宮崎青年会議所、公益財団法人宮崎文化振興協会がなっています。

試験は、1級（高度な知識レベル）、2級（やや高度な知識レベル）、3級（基礎的な知識レベル）で

構成され、問題は「みやざき観光・文化検定公式テキストブック」の中から、宮崎県のすがた、神話、歴史、自然、観光・施設、祭り・行事、生活文化、産業の8分野から出題されます。（1級はそれ以外からも出題）。学歴・年齢・性別・国籍問わず誰でも受験できます。

試験日は12月19日（日）で、当会では、東京会場として、東京・港区六本木のハリウッド大学院大学で検定試験を実施しました。試験時間は90分で、第14回（令和2年）の合格率は、1級が16・1%、2級が46・9%、3級が78・6%となっています。ちなみに、3級の過去の問題では次の問題が出されています。一部を紹介します。

○ 信州（長野）では、白味噌と赤味噌を混ぜたものを合わせ味噌というが、宮崎県では 米味噌に何を混ぜたものを合わせ味噌というか。

・ 赤味噌 ・ 白味噌 ・ 八丁味噌 ・ 麦味噌

○ 次の各藩とこれを幕末に治めていた氏の組合せとして、不適切なものはどれか。

・ 高鍋藩 - 秋月氏 ・ 佐土原藩 - 米良氏  
・ 飫肥藩 - 伊東氏 ・ 延岡藩 - 内藤氏

## ◆令和4年新年賀詞交歓会

令和4年1月21日（金）、東京・港区六本木のハリウッド大学院大学を会場に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの再拡大に伴い中止になりました。